

のびたファーム①

〈令和5年5月27日(出)〉

【目的】

児童に、野菜の植え付けから収穫、収穫物を使った制作活動を一連の流れで体験する機会を提供することで、農業に関する関心や理解を深める。また、期間を通して友達やスタッフと共に行動することにより、協調性・自主性や思いやりなどを養う。

【対象】

小学生

【参加者】

参加者32人 ボランティアスタッフ18人

【プログラム内容】

10:00	はじめのつどい	13:30	サツマイモの植え付け体験
10:45	田植え	14:30	たまねぎといちごの収穫体験
12:30	昼食	15:00	おわりのつどい



ボランティアスタッフの皆さんです。子どもたちと一緒に活動する中で、子どもとの関わり方や適切な支援の仕方を学んでいます！

「はじめのつどい」



はじめのつどいでは、施設ボランティア「くわがた」が簡単なゲームを行いました。子どもたちは、初めて会う人たちとも自然に打ち解けることができました。

「田植え体験」



子どもたちは、笛の合図で一斉に苗を植えました。苗植えを繰り返すうちに、テンポよくスムーズに苗植えができるようになりました。田植えを通じて、ボランティアスタッフと子どもたちの関りができ、次第に笑いが聞こえてくるようになりました。

「サツマイモの植え付け体験」



サツマイモの植え付け体験では、いも苗を植える「深さ」・「場所」を確認し、気持ちを込めて苗を植えました。

「たまねぎといちごの収穫体験」



たまねぎといちごの収穫体験では、食べごろな「たまねぎといちご」の見分け方を学びました。体験終了後は、研修室で一日の振り返りを行いました。みんなで一日の「感想」や「気づいたこと」を共有しました。